

事業名	公共事業評価推進費			調査番号	93
細事業名	公共事業評価委員会費	財務コード	753802		
担当部課室	県土整備 部 県土整備総務 課 企画調整 担当 (内線)		7091		

事業の概要

実施期間	始期 H10 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 県が評価を実施する公共事業等	その対象をどのような状態にして 外部委員により、専門的かつ客観的な評価がなされている	結果、何に結びつけるのか 効率的、効率的な公共事業の実施
内容	・公共事業の実施に当たり、事業実施の各段階において評価を実施する。「事前評価(予算化の前)」「再評価(事業実施中)」「事後評価(事業完了後)」について公共事業評価委員会の外部委員により審議を実施。 ・公共事業評価委員会の運営 委員数10人(専門委員6人、一般委員4人) 公共事業に対して審議し、当該事業の実施について知事に意見を具申する。公共事業の評価方法に関して審議し助言を行う。		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	評価委員会の開催	目標	10	9	9	9	9	9
		実績(見込)	6	6	6	6	9	(9)
		達成率	60.0	66.7	66.7	66.7	100.0	
		達成区分	c	c	c	c	b	
成果指標	意見書の提出	目標	1	1	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1	1	(1)
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		1,535	1,125	1,137	1,147	1,426	2,717	2,463

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	25事業について意見書を作成し知事に意見の具申を行った。
成果指標	a		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(次のとおり))		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	評価が必要な事業に対し審議し、委員会としての意見を知事に具申しており、十分な成果が上がっている。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明	審議時間の長期化により、委員会の開催時間が長時間となっており、後半の審議時間が十分にとれない場合が考えられる。		
見直しの必要性	有	再評価案件のうち、事前評価時から計画変更等なく順調に進捗している案件や、事後評価案件のうち、計画通り終了し事業の貢献度も明白な案件等については、部内の評価会議で審議し、委員会での審議は不要とする。これにより、委員会での審議が必要な案件について、審議時間が確保され、十分な検討審議が可能となる。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

改善済み	説明	再評価案件のうち、事前評価時から計画変更等なく順調に進捗している案件や、事後評価案件のうち、計画通り終了し事業の貢献度も明白な案件等については、部内の評価会議で審議し、委員会での審議は不要とした。
------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。